



Sun™ Java Workstation W1100z および W2100z クイックスタートガイド

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

部品番号 819-0011-10
2004 年 10 月、改訂 B

本書に関するコメントは、次の宛先にお送りください。 <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2004 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Sun Microsystems, Inc. は、本書に記載されている技術に関連する知的所有権を所有しています。特に、これに限定されず、これらの知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されている 1 つまたは複数の米国特許、米国ならびに他の国における 1 つまたは複数の特許または申請中の特許が含まれます。

本書および製品は、その使用、複製、再頒布および逆コンパイルを制限するライセンスに基づいて頒布されます。Sun Microsystems, Inc. またはそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、本書または製品のいかなる部分もいかなる手段および形式によっても複製することを禁じます。

本製品に含まれるサードパーティソフトウェア（フォントに関するテクノロジーを含む）は、著作権を有する当該各社より Sun 社へライセンス供与されているものです。

本製品の一部は、Berkeley BSD systems に由来し、University of California からライセンスを受けています。UNIX は、X/Open Company, Ltd. の米国ならびに他の国における登録商標で、X/Open Company, Ltd. が所有する独占的ライセンス供与権に基づいて、Sun 社にライセンス供与されています。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴマーク、AnswerBook2、docs.sun.com、Solaris は、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

SPARC の商標はすべて、ライセンス契約に基づいて使用されており、SPARC International, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標の付いた製品には、Sun Microsystems, Inc. が開発したアーキテクチャが採用されています。

OPEN LOOK および Sun™ グラフィカルユーザインターフェイスは、Sun Microsystems, Inc. がユーザおよびライセンス被許諾者のために開発したものです。Sun 社は、ビジュアルまたはグラフィカルユーザインターフェイスの概念を先駆的に研究、開発し、コンピュータ業界に貢献した Xerox 社の努力を高く評価いたします。Sun 社は、Xerox グラフィカルユーザインターフェイスに対する非独占的ライセンスを Xerox 社から受けています。このライセンスは、OPEN LOOK GUI を採用する Sun 社のライセンス被許諾者に対しても適用されます。また適用されない場合でも、それらライセンス被許諾者は Sun 社のライセンス契約文書に遵守することとなります。

米国政府の権利 - 商用。政府関連のユーザは、Sun Microsystems, Inc. の標準ライセンス契約、および FAR とその補足条項に従う必要があります。

本書は、「あるがまま」の形で提供され、法律により免責が認められない場合を除き、商品性、特定目的への適合性、第三者の権利の非侵害に関する暗黙の保証を含む、いかなる明示的および暗示的な保証も伴わないものとします。



リサイクル
してください



Adobe PostScript

目次

序章 v

1. Sun Java Workstation W1100z および W2100z の設定 1

安全上の注意 1

設置手順の計画 2

ワークステーションの開梱 3

 前面パネルの概要 4

 背面パネルの概要 5

ワークステーションのケーブル配線 6

ワークステーションへの電源の投入 7

ワークステーションの電源の切断 7

2. ソフトウェアのインストール 9

オペレーティングシステムのインストール 9

ビデオドライバのインストールと診断パーティションのマウント 10

 Red Hat Linux オペレーティングシステムの場合のビデオドライバのインストールと診断パーティションのマウント 11

 Solaris オペレーティングシステムの場合の診断パーティションのマウント 12

序章

『Sun Java Workstation W1100z および W2100z クイックスタートガイド』では、Sun Java Workstation W1100z および W2100z のハードウェアおよびソフトウェアの設定、電源投入および構成について説明します。

本書の構成

本書は次の章で構成されています。

第1章では、Sun Java Workstation W1100z および W2100z の開梱、ケーブル配線および電源投入の方法について説明します。

第2章では、Sun Java Workstation W1100z および W2100z がサポートするオペレーティングシステムと、システムに付属している補足ドライバについて説明します。

Sun ドキュメントへのオンラインアクセス

翻訳バージョンも含めた広範囲な Sun ドキュメントを、次のサイトで表示、印刷、購入できます。

<http://www.sun.com/documentation/>

Sun Java Workstation W1100z および W2100z の最新マニュアルは、次のサイトの [Documentation] リンクからご覧いただけます。

<http://www.sun.com/w1100z>

<http://www.sun.com/w2100z>

関連文書

用途	タイトル	部品番号
システム設定情報	<i>Sun Java Workstation W1100z and W2100z Setup Poster</i>	817-6583-xx
概要およびサービス情報	<i>Sun Java Workstation W1100z およびW2100z ユーザガイド</i>	819-0021-10
安全上の注意	<i>Sun Java Workstation W1100z and W2100z Safety and Compliance Guide</i>	817-6586-xx
最新情報	<i>Sun Java Workstation W1100z およびW2100z リリースノート</i>	819-0001-10

Sun テクニカルサポートの連絡先

本製品に関して、本書に記載されていないテクニカルなご質問がある場合は、次のサイトをご利用ください。

<http://www.sun.com/service/contacting/>

コメントをお寄せください

弊社は、ドキュメントの改善を常に心掛けており、皆様のコメントや提案を歓迎いたします。コメントは次のサイトを通してお送りください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback/>

フィードバックには、本書のタイトルと部品番号を記載するようお願いいたします。『*Sun Java Workstation W1100z およびW2100z クイックスタートガイド*』の部品番号は以下のとおりです。

819-0011-10

Sun Java Workstation W1100z および W2100z の設定

本章では、次の項目について説明します。

- 「安全上の注意」(1 ページ)
- 「設置手順の計画」(2 ページ)
- 「ワークステーションの開梱」(3 ページ)
- 「ワークステーションのケーブル配線」(6 ページ)
- 「ワークステーションへの電源の投入」(7 ページ)
- 「ワークステーションの電源の切断」(7 ページ)

安全上の注意

Sun Java Workstation W1100z および W2100z の安全上の注意については、次のマニュアルをご覧ください。

- 『*Important Safety Information for Sun Hardware Systems*, 816-7190-10』(パッケージに付属の印刷文書)
- 『*Sun Java Workstation W1100z and W2100z Safety and Compliance Guide*, 817-6586-xx』(Sun Java Workstation W1100z and W2100z Documentation CD に収録)

設置手順の計画

手順を計画するためのツールとして次のフローチャートを使用し、Sun Java Workstation W1100z または W2100z の設置に役立ててください。

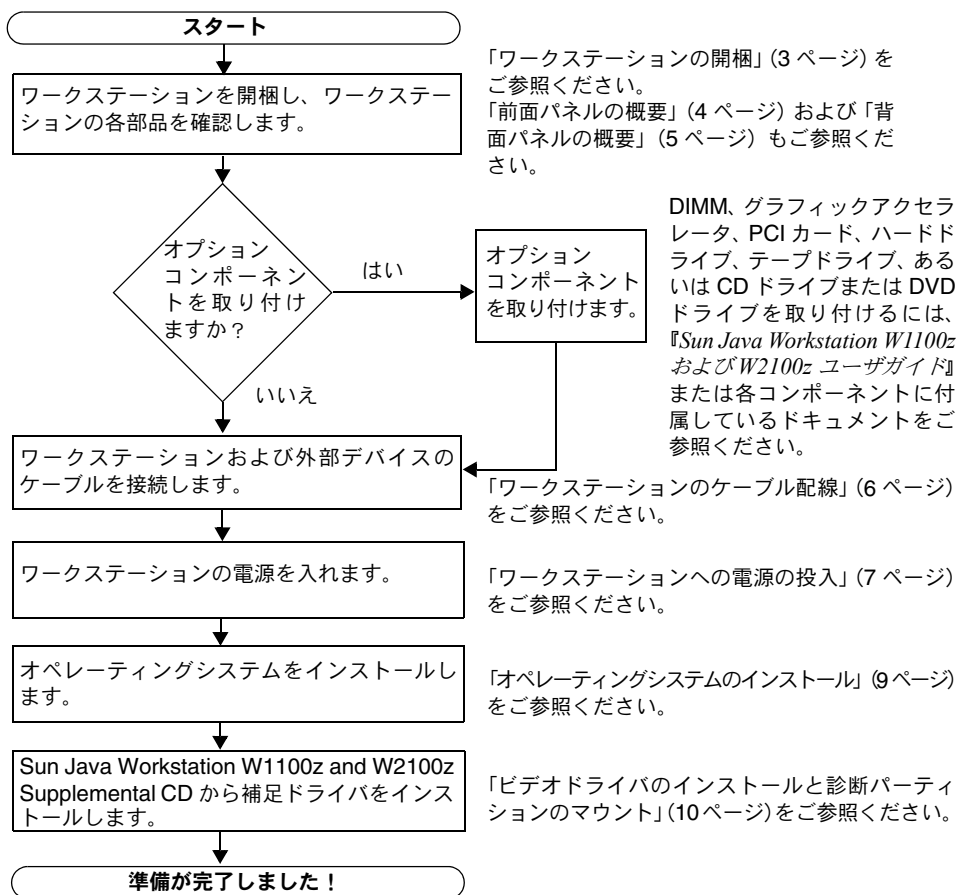


図 1-1 Sun Java Workstation W1100z および W2100z の設置手順

ワークステーションの開梱

ワークステーションのコンポーネントを箱から慎重に取り出します。Sun Java Workstation W1100z または W2100z には次のコンポーネントが含まれています。

- Sun Java Workstation W1100z または W2100z
- Sun Java Workstation W1100z または W2100z のマニュアル
 - *Sun Java Workstation W1100z and W2100z Set Up Poster*
 - *Sun Java Workstation W1100z and W2100z Safety and Compliance Guide*
 - *Sun Binary Code License*
- Sun Java Workstation W1100z and W2100z Documentation CD
- Sun Java Workstation W1100z and W2100z Supplemental CD (ビデオドライバおよび診断ソフトウェアも収録されています。)
- イーサネットケーブル
- グラフィックカードアダプタ
 - すべてのグラフィックカード対応の DVI-HD15 アダプタ
 - 60ピンLFHコネクタケーブル(NVS280グラフィックカードがシステムにある場合)
- Solaris 9 x86 Update 6 (4/04) メディアキット

電源ケーブル、キーボード、マウスなどの日本向けアクセサリキットは別途、梱包されています。

前面パネルの概要

図 1-2 に、Sun Java Workstation W1100z および W2100z の前面パネルを示します。

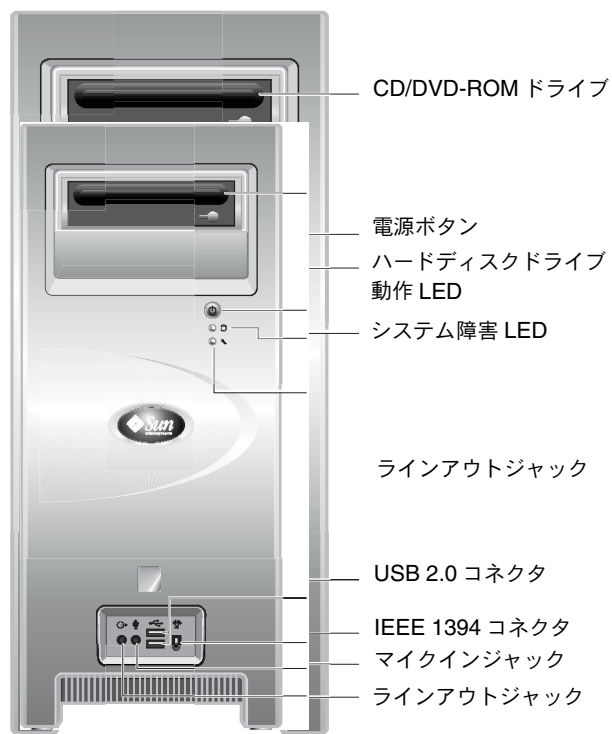


図 1-2 前面パネル

ご参考： システム障害 LED は現段階では機能していません。

背面パネルの概要

図 1-3 に、Sun Java Workstation W1100z および W2100z の背面パネルを示します。

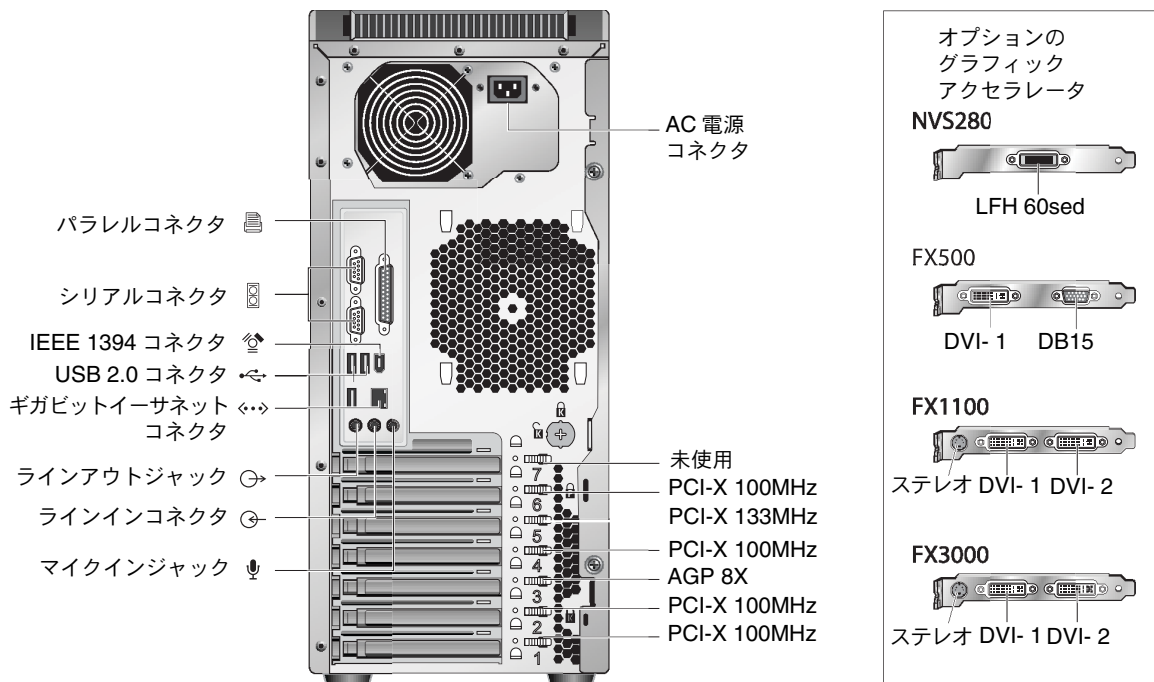


図 1-3 背面パネル

ワークステーションのケーブル配線

図 1-4 に、ワークステーションのケーブル接続を示します。

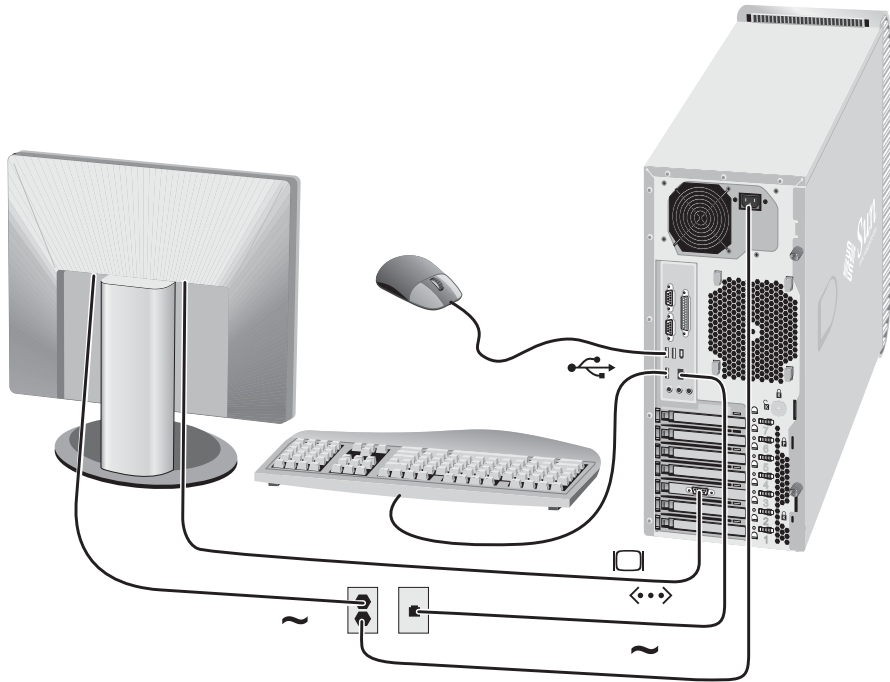


図 1-4 ケーブル接続

ワークステーションと外部デバイスのケーブルは次の順序で接続します（図 1-4 を参照）。

1. ワークステーションの電源コードを接地コンセントに差し込みます。
2. キーボードとマウスをパネル背面の USB コネクタに接続します。
3. グラフィックアクセラレータのフィラーパネルのビデオコネクタにモニターケーブルを接続します。

ご参考： システムのビデオカードに DVI コネクタしかない場合は、付属の DVI-HD15 アダプタを DVI コネクタに接続してから、モニターケーブルを接続してください。NVS280 ビデオカードをお使いの場合は、システムに付属の 60 ピン LFH スプリッタコネクタを最初に接続してから、DVI-HD15 アダプタに接続してください。

4. イーサネットケーブルを Sun Java Workstation W1100z または W2100z のイーサネットコネクタに接続し、もう一方の端をイーサネット RJ45 ジャックに差し込みます。
5. ほかの外部デバイスをワークステーションの残りのコネクタに接続します。

ワークステーションへの電源の投入

ヒント： メモリ DIMM、PCI カード、光磁気 (MO) ドライブまたはハードドライブなどのオプションの内部コンポーネントを追加する場合は、ワークステーションの電源を入れる前に取り付けてください。オプションのコンポーネントを取り付けない場合は、この時点でワークステーションの電源を入れる準備が整っています。

1. モニタの電源を入れてから、ほかのすべての外部デバイスの電源を入れます。
2. 前面パネルのワークステーションの電源ボタンを押します (図 1-2)。
3. 数秒待ってから、電源ボタンのプラットフォーム電源 LED の点灯を確認します。
電源ボタンのプラットフォーム電源 LED は、ワークステーションが内部起動処理を開始した後点灯します (図 1-2)。
4. 初めてワークステーションに電源を入れる場合は、システムが起動した後にオペレーティングシステムをインストールする必要があります。
オペレーティングシステムのインストールについては、「第 2 章」をご参照ください。

ワークステーションの電源の切断

1. データを保存してから、開いているすべてのアプリケーションを閉じます。
2. ワークステーションの電源を切る前に、次のすべての電源切断オプションをお読みください。
 - オペレーティングシステムのシャットダウンコマンドまたはメニューオプションを使用してワークステーションの電源を切ります。
ほとんどの場合、これによってオペレーティングシステムの電源が切れてからワークステーションの電源が切れます。

- オペレーティングシステムのコマンドでワークステーションの電源が切れない場合、またはこのコマンドが利用できない場合は、電源ボタン（位置については図 1-2 を参照）を押します。

電源ボタンを押すと、適切な順序でオペレーティングシステムのシャットダウンが開始され、ワークステーションの電源が切れます。

ご参考： 可能な限り最初の 2 つのオプションを使用し、データの損失を防ぎます。

- 上のオプションでワークステーションの電源が切れない場合は、電源ボタンを約 4 秒間、押し続けてください。

この方法では、ワークステーションへの電源は遮断されますが、適切な順序でのシステムのシャットダウンは行われません。この方法では、データを失うことがあります。

上記の手順でワークステーションの電源が切れない場合のその他の対応策については、『*Sun Java Workstation W1100z および W2100z ユーザガイド*, 819-0021-10』の「トラブルシューティング」をご参照ください。

ワークステーションの電源が切れてから 4 秒ほど待った後、ワークステーションの電源を再度入れます。

ソフトウェアのインストール

この章には次のセクションが含まれています。

- 「オペレーティングシステムのインストール」 (9 ページ)
- 「ビデオドライバのインストールと診断パーティションのマウント」 (10 ページ)

診断ソフトウェアも、Sun Java Workstation W1100z and W2100z Supplemental CD に収録されています。診断ソフトウェアの使用方法については、『*Sun Java Workstation W1100z および W2100z ユーザガイド*, 819-0021-10』をご参照ください。

オペレーティングシステムのインストール

Sun Java Workstation W1100z および W2100z にはオペレーティングシステムがインストールされていません。お好きなオペレーティングシステムをインストールしてください。

Sun Java Workstation W1100z および W2100z の初回リリース時にサポートされているオペレーティングシステムは次のとおりです。

- Red Hat Enterprise Linux 3 WS for x86 – 32 ビット
- Red Hat Enterprise Linux 3 WS for AMD64 – 64 ビット
- Solaris 9 x86 HW オペレーティング環境 (4/04) – 32 ビット

これらのオペレーティングシステムのインストール方法については、それぞれのオペレーティングシステムソフトウェアに付属しているメディアセットをご参照ください。

Solaris 9 x86 Update 6 は、期間限定で Sun Java Workstation W1100z または W2100z に付属している DVD に収録されています。ワークステーションとともに出荷された Solaris 9 x86 Update 6 のバージョンを必ずご使用ください。このバージョンには、Sun Java Workstation W1100z または W2100z 上で Solaris 9 を実行するために必要なドライバが入っています。

Sun Java Workstation W1100z または W2100z 上で Red Hat Enterprise Linux 3 WS を実行する場合は、次のウェブサイトからご注文ください。

<http://www.sun.com/software/linux/index.html>

ほかのオペレーティングシステムについては、Sun Java Workstation W1100z および W2100z の初回リリース後にサポートを開始いたします。現在サポートされているオペレーティングシステムについては、次の URL のいずれかをご覧ください。

<http://www.sun.com/w1100z>

<http://www.sun.com/w2100z>

ご参考： Sun Java Workstation W1100z および W2100z は、診断パーティションがインストールされた状態で出荷されます。何らかの理由により、診断パーティションがワークステーションから削除されている場合に Sun Java Workstation W1100z and W2100z Supplemental CD から診断パーティションを再インストールする方法については、『*Sun Java Workstation W1100z および W2100z ユーザガイド*』をご参照ください。

ビデオドライバのインストールと診断パーティションのマウント

Red Hat Linux WS オペレーティングシステムを実行する場合は、そのオペレーティングシステムをインストールした後、Sun Java Workstation W1100z and W2100z Supplemental CD に収録されているインストールスクリプトを実行して NVIDIA ビデオドライバをインストールします。

また、新しい診断パーティションを作成した後でこのスクリプトを実行し、診断パーティションをマウントします(診断パーティションの作成方法については、『*Sun Java Workstation W1100z および W2100z ユーザガイド*、819-0021-10』をご参照ください)。

Red Hat Linux オペレーティングシステムの場合のビデオドライバのインストールと診断パーティションのマウント

Red Hat Linux オペレーティングシステム実行時にビデオドライバをインストールし、診断パーティションをインストールするには：

1. Sun Java Workstation W1100z または W2100z にスーパーユーザとしてログインします。
2. Sun Java Workstation W1100z and W2100z Supplemental CD を CD/DVD-ROM ドライブに挿入します。
3. 端末ウィンドウを開き、次のコマンドを入力します。

```
# mount -o ro /dev/cdrom /mnt/cdrom
```

このコマンドによって Supplemental CD が /mnt/cdrom にマウントされます。
4. 次のコマンドを入力し、/mnt/cdrom/drivers/linux ディレクトリに移動します。

```
# cd /mnt/cdrom/drivers/linux
```
5. 次のコマンドを入力してインストールスクリプトを実行します。

```
# ./install.sh
```

X サーバ実行中は、このスクリプトは実行されません。
 - スクリプトが終了し、エラーメッセージが表示された場合はステップ 6 に進んでください。
 - スクリプトが正しく実行された場合は、ステップ 7 に進みます。
6. スクリプトが終了し、エラーメッセージが表示された場合は、次の手順を実行して X サーバを無効にしてください。
 - a. システムプロンプトで `init 3` と入力します。
 - b. スーパーユーザとしてログインします。
 - c. ステップ 4 とステップ 5 を繰り返します。
7. ドライバのインストールが完了したら、CD を取り出します。
8. ワークステーションを再起動します。

Solaris オペレーティングシステムの場合の診断パーティションのマウント

Solaris オペレーティングシステム実行時に診断パーティションをマウントするには：

1. **Sun Java Workstation W1100z** または **W2100z** にスーパーユーザとしてログインします。
2. **Sun Java Workstation W1100z and W2100z Supplemental CD** を CD/DVD-ROM ドライブに挿入します。

Solaris オペレーティングシステムが自動的に CD をマウントします。

3. 次のコマンドを入力し、`/cdrom/cdrom0/drivers/sx86` ディレクトリに移動します。

```
# cd /cdrom/cdrom0/drivers/sx86
```

4. 次のコマンドを入力してインストールスクリプトを実行します。

```
# ./install.sh
```

5. ワークステーションを再起動します。